

# 彩の合気

編集発行  
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関誌NO. 13

## 年頭にあたって

連盟理事長 川路 昌治



昨年は、世界史年表に残る大事件の勃発。世界に君臨してきた超大国米国の富と権力の象徴とも言ふべき世界貿易センタービル・国防総省に旅客

機が突入するという、まるでアクション映画シーンさながらの恐るべきテロ行為。その後の米国によるテロリストの掃討作戦は、激動の21世紀の開始を思わせた。マスコミも「新・世界戦争」の始まりなどと、ことさらに危機感を煽った。

日本もテロの対象になるのでは？ 実しやかに囁かれてはいたが、5ヶ月後の現在、安堵のため息を漏らしている次第です。国内的には、長引く景気の低迷、失業率の増大は記録を更新中。

目先の利益を追い求める企業倫理の低下は眼に余るものあり。物質優先から、「こころの時代」が叫ばれて幾久しい。だが、益々その言葉が現実味を帯びつつあるのが、現実只今である。

「合気道で争いのない、麗しき世界」の実現を説かれた開祖の理念が、如何に普遍的な教えであるか、昨年下半年の国内外の動向を想うにつけ改めて、御心の深さを実感した次第です。

一方、かくなる世の中とは裏腹に、合気道は国際的に益々発展・充実したものとなりました。合気会の一翼を担う当連盟におきましても、7月合同講習会では、県下19団体194名の参加により盛大に行われ、また少年錬成会も11団体173名参加のもと行われました。何れも、内容が充実していたことは、各団体の普段の努力・精進の賜と、感謝申し上げます。

時代状況に右往左往することなく、心身一如の理念を掲げ、今年も力強く邁進するのみです。

県連・新年会 : 平成14年1月20日

—— 8団体17名で盛大に！

1月20日(日)午後5時より、和光市「養老の滝」において、年始恒例の県連理事会主催新年会が、17名の参加のもと盛大に開催された。

最初に、川路理事長より、「昨年の成果を活かし今年度も一層県連の活動が充実したものになるよう各位の協力を」と挨拶があり、「この会がなよりの楽しみ」と言う、林副会長が満面に笑みを浮かべ、乾杯の音頭を取り、歓談に。

各団体からの報告になって、昨年数回の合気道教室を開き、そこからの入会者が9名であったという、久喜合気道同好会。少年部の増加で共通する発展のあった志木合気会・桶川愛気会の報告には、拍手が起こりました。

2月の各種武道団体が参加する、「武道祭」に参加の準備を進め、また4週連続の合気道教室に取り組み所沢市合気道連盟の多彩な実践報告。

A&P石垣道場からは、昨年10月6日から8泊9日で行われた、オーストラリア合宿の報告。総勢19名の参加、1年前から周到な準備があったこと、そして現地パースでは各種武道7団体70名が参加し、石垣師範のもとで合気道の稽古をしたことなど、有意義な国際交流の話に聞き入りました。最後は、和光支部が道主を招いて30周年を開催し、300席の会場が埋まり、充実した演武会であったという、喜びの報告でした。

## 当面の県連予定

◎常任理事会3月3日(日)和光市「養老の滝」

◎第17回県連少年錬成会(理事会同時開催)

場所:所沢市市民武道館

日時:平成14年4月14日(日)午後2時

◎第20回合同講習会

場所:未定

日時:平成14年7月7日(日)午後2時

## 各団体・演武会特集 (平成13年度)

## 浦和合気会 天海 江里子

## —— 演武会30周年を終えて

去る9月9日、県立武道館において、浦和合気会30周年の演武会が開催されました。

今回は、特に30周年ということもあり、打ち合わせの段階から昨年とは違った緊張感を持って取り組みました。

我々、浦和合気会のメンバーは勿論ですが、遠方から来ていただいた招待演武の方々にも楽しく、そして記念に残るような演武会にしたいという思いで準備を進めました。

当日は、各道場からたくさん参加していただきました。私は受付を担当したのですが、その際には温かい言葉をかけていただいたこと、とても嬉しかったことを今でも思い出します。

各道場の演武では、それぞれの道場の演武を堪能することができました。

今回は、遠藤師範の演武もありました。静寂な空気を乱さぬ師範の動きは、そこだけ異空間のようでした。

合同稽古では、他の道場の方々と気持ちの良い汗を流して、演武会は終了しました。

終了後は、会場を移して祝賀会が開かれました。遠藤師範ご夫妻をはじめ、参加道場の皆様から浦和合気会30周年へのご祝辞をいただきました。

パーティは終始和やかな雰囲気、懐かしい方達との話なども弾みました。裏方としては至らない点も多々あったとは思いますが、皆様に盛り上げていただき、あっという間に時間が過ぎて行き、祝賀会も無事に終わることができました。

今回の記念演武会に参加して下さった皆様には、この場をお借りし御礼を申し上げます。



## 合気道川越道場 新田 武

## —— 演武会・後記

去る9月30日(日)毎年恒例の演武会が、川越市立城南中学校格技棟で開催されました。例年参加して頂いています各地の団体から大勢の仲間が日頃の稽古の技量を披露され、可愛い子供達、高校生ら若さ溢れる青年、魅力的なご婦人から中高年の猛者まで60数名の多才な演武が繰り広げられ、緊張の中にも楽しい雰囲気で行進し、最後に島田道場長の一瞬の技・淀みなく流れる技で締めくり、感興の内に2時間近くを過ごし終了しました。

演武会の後は「なおりい」。川越道場へ移動し、40数名の和気あいの懇談の場と化しました。島田道場長の挨拶、各団体のリーダーの方々スピーチがあり、更に盛り上がりところで芸達者な3人の手品師・浪曲師の芸が披露され玄人はだしの芸にヤンヤの拍手喝采。川越道場名物の料理を食べ、ペニゴリ酒をくらい、楽しいひと時を過ごして、何とか持ちこたえた雨の前に散会となりました。

万障繰り合わせて大勢の方々がるばる川越までお越し頂き、演武にそして「なおりい」へと参加され大変お疲れ様でした。多くの方が一同に会し交流を持ち続けていくことは大変ですが、これもひとえに島田道場長の人徳によるものと推察します。

我々一般人にあつては、合気道を通じて心身の鍛錬、不撓不屈の精神を養うという高邁な目的もさることながら、稽古の間は日常の仕事・雑事のすべてを忘れて集中できること、そして汗を流して後に残るホッとした安堵感に浸ることができることではないでしょうか。これは現在の社会生活の中にあつては大変貴重な場であり時間であると思います。その中にも武道としての「礼に始まり礼に終わる」という根本精神は「人」として常に持ち続けたいものです。そしてこの精神は、国を越え人種を越えて世代から世代へ引き継がれことにより、互いに尊敬し助け合う精神を培うものと信じます。

来年の演武会には、1年間の稽古の成果を、そして新しい仲間を加えて皆様と一同に会することができることを願っています。

**所沢市合気道連盟** 斎藤 孝雄

—— 創立15周年記念演武大会

本年7月29日、創立15周年記念演武大会が市民武道館において、開催されました。招待演武には、7団体の参加があり、遠くは神戸の道場からの参加もありました。また、演武参加者は150名となり、盛大な演武大会となりました。

連盟は、昭和61年に、山上三一会長のご尽力により発足。会長の古くからの友人であり、漫画家として、テレビ、新聞でお馴染みの針すなお氏（師範・七段）が、毎日曜日ごとに指導に来られていました。現在も定期的に行われる針師範特別稽古、毎年2月に行われる初心者合気道教室には指導に来られ、連盟の発展に大きく貢献されています。

開会式では、山上会長の主催者挨拶、鈴木秀昭所沢市教育長の祝辞がありました。演武では、前半は、本連盟会員による演武を行い、続いて招待演武に移りました。参加していただいた道場・団体は、日本大学芸術学部合気道部、高伝館、桶川愛気会、深谷合気会、入間幸武館道場、港区合気会、神戸支部せいふ館であります。演武大会に華を添えていただき増した。

演武大会後に、針すなお師範による師範演武があり、“体の杖”の演武、続いて合気道の演武を披露されました。演武大会を締めくくるとにふさわしい華やかな演武でありました。

終了後、場所を変えて、招待演武に参加された方々と懇親会を行いました。合気道談義で盛り上がり、楽しく、有意義な一時を参加者一同過ごすことができました。

15周年記念演武大会という節目を終え、会員一同、連盟の一層の発展のために、新たな気持ちで稽古に精進しているところであります。

**合気道和光支部** 永井 亜希子

—— 30周年記念演武会を終えて

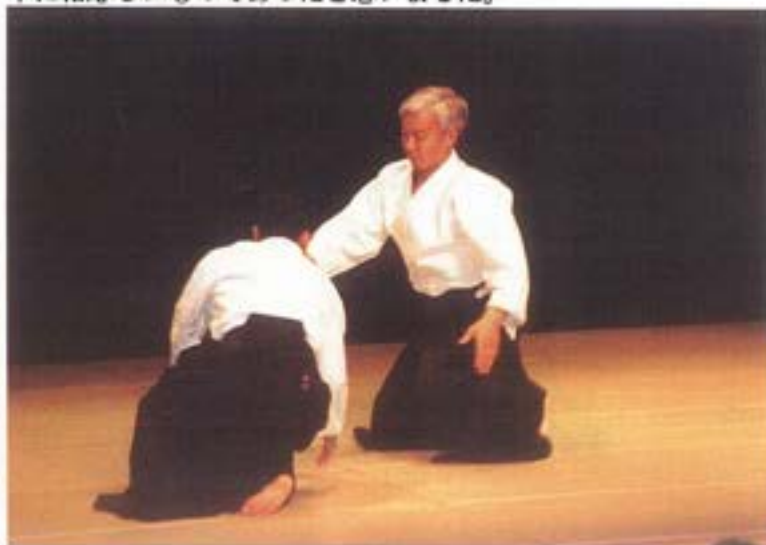
去る12月2日、合気道和光支部の演武会が行われました。これまでも、演武会が近くなるにつれて徐々に緊張し、士気も高まってきましたが、今年の緊張感や川路師範を始め支部員たちの気合の入りようは、例年とは比べ物にならないほど。特に、演武会前の1週間は和光支部全員が稽古に参加していたので、道場の中はまるでサウナのようなでした。それもその筈、今年の演武会は30周年ということで、ナント道主も出席なさるとのこと。川路師範の鼻息が荒いの領けます。こうして、例年とは違う雰囲気を感じたら演武会当日を迎えたのです。

演武会は、昨年に引き続き和光市文化会館の舞台の上でスポットを浴びての演武です。しかも道主の前で、大人たちは極度の緊張振り、対照的なのは落ち着いた子供達。演武も普段通りに行っていましたし、会場内で騒いだり走り回ったりする子は見当たりませんでした。昨年にもまして、子供達の成長を実感しました。

演武は滞りなく進み、川路師範、そしてメは道主・植芝央守先生でした。あの時の、会場内のすべての眼は道主に向けられていました。会場内が一つになったあの独特の雰囲気は、今も心に残っています。今度味わえるのは…。

演武会終了後、場所を移し道主を囲んでの直会が和やかな雰囲気の中で行われました。次々と前に訪れる人を前に、笑顔で応える道主とホッとした表情で歓談する、支部員及び賛助演武者の方々の顔がとても印象的でした。

今年の演武会は、演武された方もご観覧くださった方も、「スバラシカッタ」と言える、30周年に相応しいものであったと思いました。



**A&P石垣道場** 畦地 稔生

—— 石垣道場欲張り海外合宿

石垣道場長以下20名は、10月9日夜9時オーストラリア・パースに想いを馳せ、QF70便に乗り込みました。目覚めた翌朝のパースは風が強く、意外な寒さでしたが早速市内観光に出発。

州鳥ブラックスワンの群れるモンガ湖、中世チュウダ様式を模した建物が一段と趣を添えるロンドンコート、市内を一望できるキングスパーク等々。とりわけ、花々の咲き競うキングスパークから望むスワン川と、パースの街並みは、絶妙なコントラストを見せ、素晴らしいにつける絶景でした。高名な旅行家の兼高薫さんが、「住みたい街」と言った訳が納得できました。

初日の観光を忙しく済ませた夕方からの交流稽古には、70名を超えるパースの人々が集い、道場は溢れんばかりの熱気に包まれました。そんな中、石垣師範が日本語に時々英語を交え、笑顔でたたえて指導開始。ソフトに大きくゆっくりと…これまで経験したことのない稽古に、最初こそ戸惑いを見せていたパースの人達も、次々と手を取り指導する師範の技の凄さを感じ取ったのか、時の経過と共に益々稽古に熱が入ってきたようでした。

鎖骨骨折で見学を余儀なくされていた仲間の一人、居ても立ってもいられず、とうとう稽古に参加。皆の心配する声もどこ吹く風でした。恒例のパーティ。料理やお酒の準備に時間がかかりすぎるのはオーストラリア流でしたが、国籍、人種、民族などの異なる人々との楽しい交流は、延々と深夜まで続きました。お疲れ様。

翌日からの観光、夜の飲み会、空港への見送り迄、師範に密着したのは合気道、テコンドー、空手をやっているという血気盛んな大学生。石垣先生の技と人柄にほれたそうです。

カタジュタ（マウントオルガ）ウルル（エアーズロック）に強い気を感じた師範、さすがアボリジニの聖地と感心しきりでした。師範の名前の（晴夫）のとおり天気回復したウルルへ登山。高所に弱い師範も、73歳の加藤さん、67歳の水野さんもみんな頑張って山頂に辿りつきました。全員下山できて、よかったですね。筋肉痛にはなりませんでしたが？

シドニーは道場長と旧知のスティブンの道場で稽古。5年前に訪ねた時の懐かしい顔が見

えると「兄弟子」の言でした。

サーフィンでお尻を怪我して痛いと言いつつ稽古するスティブンさんや元バレーボールオーストラリア代表、巨漢のピーターさん、大阪滞在6年で日本語ペラペラのピーターさん達と楽しい稽古ができました。パーティで食べた手作りのケーキ、それにしても、どうしてオーストラリアのケーキはあんなに甘いんでしょうかね？

交流稽古をぬっての観光。そして連夜の飲み会。道場長を訪ねてくる外国の人達との交流。これぞ石垣道場流充実、欲張りの海外合宿。本当に満了した9日間でした。次回も楽しみにしています。

(気のいった指導する石垣師範)

**合気会 今年の主な行事**

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 4/26 (金)           | 開祖御命日偲ぶ会       |
| 4/29 (月)           | 合気神社大祭 (岩間)    |
| 5/25 (土)           | 第40回全日本演武大会    |
| 7/21 (日)           | 第24回全日少年合気道錬成会 |
| 7/29 (月) ~ 8/7 (水) | 暑中稽古 (本部道場)    |
| 12/25 (水)          | 稽古納め           |